

令和5年度 第1回奄美市子ども・子育て会議 議事録

開催日時	令和5年12月1日(金)14:00~16:00
開催場所	奄美市役所名瀬総合支所5階大会議室
出席者 (13名)	永田委員長, 加世田副委員長, 吉村委員, 福崎委員, 福田委員, 川内委員, 下田委員 稲田委員, 肥後委員, 三浦委員, 川畑委員, 松山委員, 西谷委員
事務局	福祉事務所長, こども未来課, 福祉政策課, 健康増進課, 学校教育課 住用総合支所市民福祉課, 笠利総合支所いきいき健康課 調査委託業社
〈議題〉	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付(代表者)・委員紹介 3 副市長あいさつ 4 委員紹介・事務局紹介 5 委員長・副委員長選任 6 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3期 子ども・子育て支援事業計画について (2) ニーズ調査について (3) その他 7 閉会
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
<p>事務局の進行により, 開会と会議の成立を報告。 市長は公務出張のため, 副市長のあいさつ。 事務局より, 委員長, 副委員長案を提案し, 委員の了承を得た。 その後、進行を委員長にお願いし, 各委員の自己紹介の後, 協議を行った。 質疑内容は以下のとおり。</p> <p><u>(1)第3期 子ども・子育て支援事業計画について</u></p> <p>資料1, 1-2, 1-3に基づき, 子ども子育て会議, 事業計画概要及び今後のスケジュール等説明 ⇒ 特段の質疑なく、了承される。</p> <p><u>(2)ニーズ調査について</u></p> <p>資料2, 2-1, 2-2, 2-3に基づき, ニーズ調査の概要(対象者や件数, 項目, スケジュール等)のほか, 前回調査(5年前)との変更点, 市独自の保育士等の勤務実態調査の内容について, 事務局から説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>(委員)</p> <p>保育士アンケートについて, 回答期間が短かったが, 回収率はどれほどか?</p>	

(事務局)

約200名から回答があった。

(委員)

今回のニーズ調査については、回収率の目標(30~40%)が低いのでは。上げる工夫をしてほしい。奄美市では待機児童が多いので、入所している人と入所していない人に分けて調査を実施してもいいのではないか？

(調査委託業者)

他市町村では、回収率をあげる方法として、施設職員や民生委員が直接回収しているところもある。または、気軽に答えられるように設問を減らすのも方法である。郵送での回答となると、平均で30~40パーセントの回答率となる。

(事務局)

回収率30~40%で、市民の意見を把握するための十分なデータと言えるのか？

(調査委託業者)

母数が500人であれば300人の回答があれば十分な回答数と言える。

(事務局)

回収率を上げるために、各施設が利用する連絡ツールや広報紙等での周知を考えている。施設職員にお願いすることは、負担となることが気がかり。

(委員長)

民生委員の活用は検討できるか？

(事務局)

住用・笠利地区はともかく、名瀬地区は不在地区等も多く、現時点では考えていない。

(委員長)

学校の協力は検討できるか？

(事務局)

依頼は可能。

(委員)

家に直接来られることを嫌がる人もいるからオンラインでいいと思う。前回のアンケートが活かされたことが分かると、回答する意義を感じると思う。

(委員)

設問数が多くなるとやる気がでない。私の意見はなくてもいいと思ってしまう。

(委員)

私の家は就学児と未就学児がいるため、調査が2つ。帰宅後、家事育児終えた後に設問が多い調査に答えるとなると、最後は雑になってしまうと思う。設問数はなるべく、最小限にしてほしい。オンラインで回答できるのは良い。

(委員)

質問項目は絞ったほうが良い。保育士の給与についても介護職同様に考えるべき。

(委員長)

質問数は減らすことができるのか？

(事務局)

設問数の変更は可能な限り対応したいが、国の必須項目があり削れない部分もある。

(委員長)

アンケートが2つある世帯については、回答をまとめられないか？

(事務局)

同様の質問については、重複しないように工夫する。

(委員)

回答が役に立ったと分かるようにしてもらえたら回答数が増えると思う。

(事務局)

調査票に同封する依頼文書でこれまでの実績を紹介することで、調査の意義をお伝えしたい。

(同封の調査票の1ページ目を参照)

(委員)

今回は小学3年生までが対象だが、それ以上の年齢児童に関する調査はしないのか？
兄弟児の居場所や通所サービスを利用できない障がい児の居場所等を聞かなくていいのか？

(調査委託業者)

障害福祉に関する調査もあるのでそちらで実施する。

(委員)

障害福祉のアンケートも同時期なので、重複しないようにしてほしい。フォローが必要な家庭は、親もフォローを要する場合があるので、負担軽減してほしい。

(事務局)

市で策定する様々な計画は、市として一番大きな総合計画に基づいて策定されている。それぞれの計画が同じ方向性で進むために整合性をとっている。本事業計画におけるニーズ調査は、保育施設の量を推計する要素が大きいが、障害者分野や健康あまみ21等の母子保健における調査で出された意見を効果的に吸い上げながら、計画策定をしたい。
その後、特段の質疑はなかったが、会議後に意見がある場合の提出様式及び提出期限を12月8日(金)までとすることについて、委員の了承を得た。

(3)その他

その他今回の会議について質問はないか？

⇒ 特段の質疑なし、次回の会議日程(令和6年3月頃)を説明し、会議終了。